

かけはし

(題字・佐々木英明氏)

第44号

発行日：令和6年3月25日
発行元：陽東地区まちづくり協議会
〒321-0904
宇都宮市陽東2-16-36
(陽東地域コミュニティセンター内)
TEL/FAX 028(662)6269
E-mail : yoto_com@flower.ucatv.ne.jp

ホームページ



陽東地区の人と人、心と心の「かけはし」に…

災害の発生に備えて～災害が起きる前にできること

能登半島地震から災害対策を考える

陽東地区自主防災会会長 竹内 律

誰もが新しい年の平穏と多幸を願う元旦に襲った能登半島地震は、災害大国日本に住む私たちに改めて災害への備えの大切さを痛感させました。

陽東地区自主防災会では、災害に備え、地域や住民が自発的にとるべき対策を防災計画としてまとめていきますが、今回の能登半島地震を踏まえて、住民の皆さんに防災対策の要点をお知らせしたいと思います。

◇お住まいの家屋の安全性の確認

能登半島地震では家屋の倒壊による圧死者が多く出ました。家屋の耐震基準(建築基準法)は、昭和56年に大きな改正があり、新耐震基準が適用された家屋(昭和56年6月以降の建築家屋)は、震度6強から7程度でも倒壊しないとされています。したがって家屋が昭和56年5月31日以前の建築の場合には耐震性に問題がある可能性があります。宇都宮市では、木造住宅の耐震診断や耐震改修補助制度等を実施していますので、詳しくお知りになりたい方は、宇都宮市役所の建築指導課(☎028-632-2573)へお問い合わせ下さい。



◇各家庭での対策と備え

能登半島地震では、飲料水や仮設トイレの不足が大きな問題となりましたが、昨年、自主防災会で行ったアンケート調査でも、飲料水と簡易トイレの備蓄の必要性が1位、2位と上位を占めました。

飲料水(1人1日3ℓ)や食料などを最低3日分、できれば7日分備蓄すること、さらにスマホやラジオなど災害情報の入手手段を確保しておくことなど最低限の備えが必要です。

また、住民ひとり一人の防災行動計画として、災害が発生したときに家族がとるべき行動を家族で話し合い、時系列的に1枚の紙にまとめておく「マイ・タイムライン」を作成しておくことも有効な対策として推奨されて

います。

※宇都宮市「わが家の防災マニュアル」の「今すぐできること」に、家庭内備蓄・非常品持出品が紹介されています。

※自主防災会としての対策

◆避難所の開設・運営・備蓄、災害時避難訓練の実施
※自主防災会では、地震発生時、避難所担当者の通信手段が遮断されることを想定し、震度5強の地震発生を自主出動の判断基準としています。

※避難所の運営・備蓄については、

飲料水と仮設トイレの確保が大きな課題となります。避難所の衛生管理対策や避難者のプライバシーの確保などについて検討を進め、対策を講じていきたいと思います。



避難所開設訓練

※毎年5月に陽東小学校を会場に実施している災害時避難訓練については、高齢者など災害時要援護者や熱があるなどの要観察者も含めた避難者の迅速な受け入れ態勢について、さらに訓練の精度を高めていく必要があると考えています。

※住民相互のふれあい・助け合い

日頃からの住民相互のふれあいや助け合いが、高齢者など災害時要援護者の安否確認や避難支援などにおいて大きな力を発揮します。今回の地震は、住民のふれあいだけで助け合いの心を育てていくことが、災害対策に限らず、地域のまちづくりにおいても最も大切なことを教えてくれました。



わが家の防災マニュアル

能登半島地震災害義援金への協力がありがとうございました。自治会の皆様の温かいご協力により、約74万円の募金が集まり、日本赤十字社を通じて被災地へ届けることができました。心より感謝申し上げます。

陽東地区連合自治会

災害時には 地域で 声かけ 助け合い ～災害時要援護者支援制度～

宇都宮市では、高齢者や障がいのある方など、災害時に自力で避難することが困難な方を対象に、申し込みにより市の名簿に登録していただき、地域の皆さんの協力で避難支援をしていく「災害時要援護者支援制度」を実施しています。

名簿は市から地域の支援関係者（自治会、民生委員、自主防災会など）に提供され、情報を共有して地域の助け合いによる支援体制づくりを進める仕組みです。

「助け合い」により、少しでも災害時の被害を減らそうという制度です。

地域の皆様のご協力をお願いします。



1 対象となる方

在宅で生活している高齢者や障がい者などのうち、台風や地震などの災害時に自力で避難することが困難で、地域の方の避難支援を希望する方が登録の対象になります。

※施設・病院などに長期入所・入院されている方は対象になりません。

2 登録希望の連絡（陽東地区）

陽東地区の自治会加入世帯に制度のチラシが配布されますので、登録を希望される方はチラシに付いている登録希望連絡票を自治会長または班長へ提出して下さい。

※チラシの配布時期などは自治会によって異なります。登録を希望された方には、後日、自治会の役員や民生委員などが自宅を訪問し、市の名簿に登録するための申込書をお持ちして申込書の作成をお手伝いします。

3 登録された方への支援内容

ご近所の顔なじみの人や自治会の班など（避難支援者）に、要援護者に登録された方に対する災害時の安否確認や避難誘導などの支援にできる範囲で協力していただきます。

Q：登録すると避難支援者が必ず助けてくれるのですか？

A：災害時には、避難支援者の方も被災して支援活動ができないことも考えられます。避難支援者の支援は「助け合い」の精神によりできる範囲で行われるものですが、この制度に登録することで、支援を必要としている方のことを自治会や民生委員等が把握することができ、地域の連携で災害時の被害を減らしていくことが期待されます。

Q：個人情報や自治会等に知らせないで登録できますか？

A：要援護者の方の年齢や本人の状況などについては、陽東地区支援班などの関係者（自治会、民生委員等）が情報を共有しますが、これは地域ぐるみで円滑に避難支援を行うためです。支援関係者は要援護者の個人情報を適切に管理しますが、個人情報の提供に同意いただけない方の登録はできませんのでご了承下さい。

Q：どんな人が登録できるのですか？

A：ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障がいのある方など、災害時に避難の手助けを必要とする方で、地域の方からの避難支援を希望する方が対象になります。市へ提出する申込書に、登録希望者の家族構成や身体状況などについて記載していただきます。

Q：近所の方が避難支援者になってくれるのでしょうか？

A：支援者はできるだけ早く駆け付けられるように、隣近所の顔見知りの方などの身近な人が望まれます。支援者として頼める方がいる場合は、あなたからも協力をお願いしてください。相談・調整しても頼める方が見つからない場合には、陽東地区支援班からお住まいの地区の自治会の班などの組織に避難支援の協力をお願いします。

二十歳(はたち)を祝う成人のつどい 1/7(日)ライトキューブ宇都宮



式典会場 3階中ホール



司会担当の皆さん (右端が大貫雄也さん)



佐藤市長に「誓いの言葉」

ありのままの自分で成長していく
陽東中学校区実施委員 大貫 雄也

昨年とは異なり、マスクのないみんなの「ありのまま」の顔が見えるつどいとなった今年の式典。
会場は、久しぶりの再会を喜ぶ賑やかな声と笑顔で溢れました。陽東中学校を卒業してからの年月は長いようで短くもありましたが、みんなの顔に変化や成長を感じました。
新型コロナウイルスもようやく収束に向かい、徐々に生活や人との距離が元に戻りつつありますが、私はこのコロナ禍で、「環境が変わっても自分らしくいること」の大切さを実感しました。これから一人の大人として、どんな困難な状況に置かれても自分を見失わず、「ありのまま」の自分で人生に沢山の色を着けていこうと思います。この日を迎えられるのは、家族や地域の皆さん、恩師、友達など数えきれない人たちの支えがあったからと心から感謝しています。このように素晴らしい式典が開催できたことに、携わっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。これからも私たちの更なる成長を温かく見守って下さい。

“助け合い・支え合い・ふれあい”の地域づくり

医療的ケア児に記念写真を
(カズサヤ写真館 菊地芳弘さん)



着脱が簡単な専用のはかまを着付け

医療的ケア児とは、病気や障がいにより、日常的に痰の吸引や人工呼吸器の管理などのケアが必要なお子さんです。
陽東4丁目のカズサヤ写真館の菊地芳弘さんは、南中久保自治会の民生委員を務めています。医療的ケア児の支援施設を見学したことをきっかけに、写真館として何ができるかとの思いから、車椅子に乗っていても簡単に脱ぎ着ができる専用の衣装を使った記念撮影の取り組みを始めました。七五三を迎えた五歳のお子さんの撮影は、はかまからタキシードへのお色直しもスムーズにでき、ご両親もとても満足した様子だったそうです。

「お手伝い隊」の皆さんが
高齢者宅の庭木を剪定



令和5年12月14日撮影

「お手伝い隊」（代表金子一彦さん）は、陽東地区の高齢者に対するボランティア支援活動として、日常生活の補助や相談ごとなどに対応しています。師走のこの日は、庭木をきれいにしたいという要望に答え、5人のメンバーで伸びすぎた庭木の伐採・剪定を行い、「おかげ様で気持ちよく新年を迎えられる」と喜ばれたそうです。

陽東中学校地域協議会

◎令和5年度活動報告

- ・第1回協議会 (6/17) ・第2回協議会 (10/21)
- ・第3回協議会 (2/13) ＊協議会を3回開催

◆図書室ディスプレイ年4回(春夏秋冬) ◆1年生家庭科ミシン授業見守りボランティア11月

◆朝の読み聞かせ6月～12月

◆地域室廊下装飾等 ◆地域行事への中学生ボランティア参加の強化: 災害時避難訓練や夏祭り、地区体育祭に多くの中学生がボランティアとして活躍しました。地域の皆さまには大変お世話になりました。



◆陽東中学校未来会議 2/26(月)

今回はボランティア委員会の生徒28名と協議会委員の意見交換会として開催しました。



ボランティア活動に参加した感想や今後のボランティア活動について話し合いました。陽東中学校PTAで実施していたベルマーク回収がなくなり、「生徒自ら始めたい!」との意見などが出されました。

◆卒業・入学式を前に体育館のカーテンの修繕作業を行いました。日数がない中での作業となりましたがご協力いただいたボランティアの皆さんありがとうございました。

◆卒業・入学式を前に体育館のカーテンの修繕作業を行いました。日数がない中での作業となりましたがご協力いただいたボランティアの皆さんありがとうございました。



陽東小学校地域協議会

◎令和5年度活動報告

- ・第1回協議会 (6/21) ・第2回協議会 (11/9)
- ・第3回協議会 (2/6) ＊協議会を3回開催

◆毎週水曜日午前学校支援ボランティア(ボランティア室他) ◆朝の読み聞かせ: 各教室 ◆登下校の安全見守り・ボランティアの皆さんとの書面による意見交換

◆家庭科授業見守りボランティア ◆教室のカーテンや・トイレ履き洗い・清掃活動 ◆農園ボランティア: 4月～12月 ◆運動会で使用した法被の修繕 ◆卒業・入学式用掲示物や校内アチラこちらの装飾物作成

♥4年ぶりに「本とこどもをつなぐ講座」と「親子料理教室」開催

『本とこどもをつなぐ講座』 1/24(水)

朝の読み聞かせボランティアの「陽東文庫」代表の松田愛子さん他メンバーの皆さんから落ち着いているこどもたちの様子や参加者からの「読書好きのこどもを食事やお風呂の時間にけじめをつけさせるには?」などの質問に答えて頂きました。



親子料理教室

『親子料理教室』 2/17(土)

「パンDEパイ」簡単おやつ作りをホームメイドクッキングの平野道代先生に教えて頂きました。久しぶりの開催に申し込みが多く2部制で26組の親子総数57名参加となりました。

♥児童の登下校の安全見守りには多くの皆さまのご協力をいただいておりますが、今後、散歩や買い物を下校時間に合わせるなど「ながら見守り」のご協力もお願いします。

陽東小中学校地域協議会ふりかえり

新型コロナ感染症の5類移行に伴い制限解除がなされ、小中学校では開催方法を工夫するなどしてほとんどの学校行事を開催しました。地域行事も徐々に復活しつつあります。小中学生の姿が地域に戻ってきたと感じた人も多かったのではないのでしょうか。地域の避難訓練や夏祭り・体育祭にボランティアとして中学生を参加させていただき、異世代の方々との関わりの中で学校では味わうことのできない充実した体験をしました。今後におきましても、小中学生の活躍できる場をご提案いただけるようお願いします。こどもたちはそんな体験を通して郷土愛が育まれるのだと思います。私たち大人も含め地域の魅力をもっともっと知って「このまち、陽東が大好き!」と言う人が増えることを願います。各地域協議会は学校の応援団として、より多くの皆さまのご協力をいただきながら、こどもたちを支援してまいります。

故 植木稔さんを偲ぶ

平成24年度から令和元年までの8年間、陽東地区まちづくり協議会の会長として、温厚篤実な人柄で地域の発展に多大な貢献をされた植木稔さんが1月16日、84歳で逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

陽東の気になるスポット “これはなに? なぜここに?” [シリーズ③]

LRT宇都宮大学陽東キャンパス停留場の“キラキラ模様”の正体は…



オプティクス教育研究センター

このキラキラ模様は陽東キャンパスにある「オプティクス教育センター」という、光学分野の研究施設の壁の拡大写真です。建物の東側の壁一面に95ミリ四方の鏡面板(ステンレスプレート)が並べられています。

大学の研究に関係ありそうに見えますが、あくまで飾りだそうです。風が吹くとカラカラと小さな音をさせて不思議な動く模様ができます。新緑が壁面に映える春は特に美しいです。



停留場のガラス面